

カメラとつながるクラウドプラットフォーム “image.canon” 始動

キヤノンはカメラとつながり、PC、スマホ、外部のウェブサービスと連携するクラウドプラットフォーム “image.canon” を 2020 年 4 月 14 日に開始します※1。“image.canon” は撮影後のワークフローを改善し、カメラの新しい楽しみ方を広げます。



“image.canon” のロゴ



“image.canon” のコンセプト

“image.canon”は、カメラとクラウドが一体化する「コネクテッド・カメラ」をコンセプトとした新しいクラウドプラットフォームです。開発中の“EOS R5”をはじめとした自動転送機能搭載カメラから “image.canon”に Wi-Fi 経由で、静止画・動画をオリジナル画質のまま、自動転送※2 できるようになります。“image.canon”を核として、PC やスマホ、外部のウェブサービスに静止画・動画の転送ができることで、作品づくりを極めたいプロフォトグラファーやハイアマチュアユーザーの静止画編集、手軽に撮影を楽しみたいエントリーユーザーの SNS 共有など、ユーザーの用途に応じた撮影後のワークフローを改善し、楽しみ方を広げます。

■ カメラから “image.canon” へ静止画・動画を自動転送可能

開発中の“EOS R5”をはじめ、今後発売予定の自動転送機能搭載のカメラでは、電源を入れるだけで、容量を気にせずに、静止画・動画をオリジナル画質のまま “image.canon”に自動転送※2 でき、30 日間保管※3 できるようになります。30 日経過後もオリジナル画質の静止画・動画を “image.canon”に保管したい場合は、10GB のストレージへの移行操作を行うことで長期間保管※4 できます。

■ 外部のウェブサービスとの連携により撮影後の保管・編集・共有が容易

2020 年 4 月のサービス開始時には、“image.canon”から「Google Drive」などへ自動で静止画・動画が転送できます。2020 年 6 月からは、クラウドストレージサービス「Google One」（メンバーシッププラン）を介した「Google Photos」ならびに「Adobe Creative Cloud」（メンバーシッププラン）との連携を予定しています。自動転送された静止画は、連携先のサービスやアプリ上でオリジナル画質のまま編集できるほか、保管や共有も容易になります。

今後、AI や 5G を活用し、例えば、屋外イベントで撮影された写真や映像を遠隔地でリアルタイムに楽しむことや、クラウド上での RAW 編集、撮影者の好みに合わせた撮影をアシストするなど、カメラと双方向につながることで新たなカメラの楽しみ方、撮影方法を提供していく予定です。

※1 「CANON iMAGE GATEWAY オンラインアルバムサービス」は、3月31日に終了。“image.canon”は同サービスの後継サービスになります。4月のサービス開始時まではデータ移行期間のため、移行が完了するまで、オンラインアルバムにアップロード済のお客様の全ての静止画・動画ファイルおよびアルバムはアクセスができなくなります。赤字部分は2020年3月19日修正。
 ※2 “EOS R5”より前に発売された Wi-Fi 対応のカメラは、2020 年 4 月のサービス開始時から手動で選択してアップロードが可能。対応機種の詳細は 4 月のサービス開始以降、image.canon のウェブサイトでご確認ください。自動転送には、開発中の“EOS R5”をはじめとする自動転送機能を有するキヤノンのカメラで事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続していることが必要。
 ※3 オリジナルの画質で静止画・動画をアップロードする際、自動的にサムネイル（最大長辺 2048 ピクセル）も作成・保管されるため、アップロードから 30 日経過後も “image.canon” 上でサムネイルをいつでも閲覧できます。
 ※4 “image.canon”の会員が、1年間本サービスの利用がなかった場合、サムネイルを含む全ての静止画・動画を削除します。

< “image.canon” の各種機能 >



容量を気にせずオリジナル画質で静止画・動画をアップロード可能

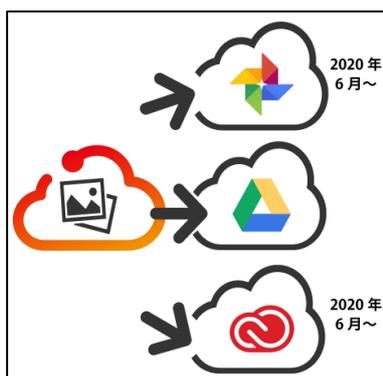
キヤノンのカメラユーザーは、カメラから “image.canon” に Wi-Fi 経由で容量を気にせずオリジナル画質で静止画・動画をアップロードし、30 日間保管^{※1} できます。

10GB までは長期の保管が可能

30 日経過後もオリジナル画質の静止画・動画を “image.canon” に保管したい場合は、10GB のストレージへの移行操作を行うことで長期間保管^{※2} できます。

Wi-Fi 経由、ダイレクトに静止画・動画をアップロード

開発中の “EOS R5” をはじめ、今後発売予定の自動転送機能搭載のカメラでは、電源を入れるだけで、未送信の静止画・動画をすべて、 “image.canon” に自動転送^{※3} できます。



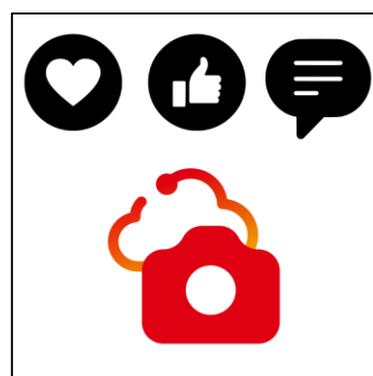
外部のウェブサービスへ自動転送

“image.canon” の静止画・動画は「Google Drive」などへ自動転送ができます。2020 年 6 月からは、クラウドストレージサービス「Google One」（メンバーシッププラン）を介した「Google Photos」、「Adobe Creative Cloud」（メンバーシッププラン）と連携予定で、撮影後のワークフローが大幅に改善されます。



PC に自動ダウンロード

PC 専用アプリケーションを使用して “image.canon” から PC へ自動で静止画・動画をダウンロードできます。



SNS への投稿も可能

“image.canon” モバイルアプリから簡単に SNS、YouTube へ投稿、静止画・動画の共有ができます。

- ※1 オリジナルの画質で、静止画・動画をアップロードする際、自動的にサムネイル（最大長辺 2048 ピクセル）も作成・保管されるため、アップロードから 30 日経過後も “image.canon” 上でサムネイルをいつでも閲覧できます。
- ※2 “image.canon” の会員が、1 年間本サービスの利用がなかった場合、サムネイルを含む全ての静止画・動画を削除します。
- ※3 “EOS R5” より前に発売された Wi-Fi 対応のカメラは、2020 年 4 月のサービス開始時から手動で選択してアップロードが可能。対応機種の詳細は 4 月のサービス開始以降、image.canon のウェブサイトでご確認ください。自動転送には、開発中の “EOS R5” をはじめとする自動転送機能を有するキヤノンのカメラで、事前登録した Wi-Fi アクセスポイントに接続していることが必要。

- * Google Drive、Google Photos、Google One、YouTube は Google LLC の商標です。
- * Adobe、Creative Cloud はそれぞれ、アメリカ合衆国およびその他の国々における Adobe（アドビ社）の商標または登録商標です。
- * Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または登録商標です。